

悦楽のプロローグ


ここは私のプライベートルーム…
お屋敷の図書館とは違う特別なお部屋。
普段は誰も入れたことの無い私だけの空間なの。
ここにいると精神的にも開放される気がして
とっつても落ち着くわ…





例えばこうして、
お洋服をまくり上げて誰にも何も言われない…
心も身体もリラックスして、
本当の自分をさらけ出せる…
そんな感じかしら。

でもね…
実は最近、このお部屋で新しい遊びを覚えたの…
お屋敷のみんなには内緒。
絶対言えない、大人の遊び……………



こんな格好してるからかしら…
今日は朝から、ずっと我慢してたのに
この机を見てたら、その遊びを
なんだか、急にしたくなってきちゃった……

私、変じゃないよね…
多分、みんなしてるのよ…
お…大人だもの…

この机のところにこうして
私の大事なところを押し付けると
すごく変な気持ちになるの…

ぐ
ん

んっ…… あっ……
ほら、こんな感じに…

あ
い
っ





あつ… おまたがこすれて… 熱い…
恥ずかしいけど
こんなこと今まで知らなかったの…

あつ…
ひあああつ…

ヒクヒク

しゃん

ぐん

だって、魔法書にもこんなこと書いてないんだもの
ほら、こうしてるだけで…
もう、気持ちよくなってきた…

あつ！ ダメ……………
なんだか、違うところに行っちゃいそう…





ふあ…
すごい感じてきちゃった……
お汁が止まらないの…

もう、私のおま〇こ
ピチヨピチヨになってる…

ヒッ

アッ

アッ

アッ

ヒッ

アッ

ヒッ

ヒッ



はあ… ダメ…
気持ちよくてオシッコ出ちゃいそうなの…
んはあ… 我慢できない…

もう、このまま… しちやう
あっ…あっ…

しゅん

アッ

アッ

ハッ



はあ...はあ...はあ...
私...こんな格好...で...
いっぱいオシッコしちやった...

でも、これ好きなの...
すごく気持ちがいいんだもの...

47...



こうやって気持ちよくなることを
イクって言うんでしょ…
ちゃんと身体で覚えたんだから…

私だって、女の子なんだもの…
エッチなこともしたいの…

ほら、もうグシヨグシヨ
お洋服もこんなに汚れちゃった…
ホント、いけない遊び……

でも… すごく感じちゃう…
こんなに気持ちいいんだもの…
もつと、いろいろ試してみたいわ……



これからお茶の時間よ。
私がお好きなホットミルク…
とっても素敵な飲み方でいただくわ…



今からいただくこの濃厚なミルクはね
お屋敷で特別にお取寄せしている品なのよ。
私にちょうどいいように
今は人肌くらいの温かさにしてあるの。

それにね…
これにはちよつとした魔法をかけてあるの
私を淫らにってしまう魔法が…ね…

むにゅ

むにゅ



んふ…
あったかい……
この魔法のミルクを全身で味わうの
白い液が私の身体にまわりついて…
まるで汚されていくよう……



私の胸も、乳首も、おへそも…
熱いミルクがつつたっていくわ
あああ…アソコの中にも垂れていくのが分かる。

んああ…
いやらしい…
このまま私の身体に入ったミルクで
赤ちゃんができちゃうんじゃないかしら…

あああ…
そんなのイヤ…犯されちゃう…
そんなに強くいじらないで…
乳首弱い…それ以上されたら私…



もう立ってられない…
身体が敏感になりすぎて
ちよつと触られただけでもジンジンしちゃう…

おにや

ムクッ

ムク

ムクッ

おん





感じすぎるの、私、イツちゃう… 乳首でイツちゃう… あっ… あっ… あっ… ダメっ… ダメっ…

あっ…ダメっ… そんなに乱暴にしないで…



あはあ!
いやあああああああああああ!
でちやうううううう!

E

E

E

E

P. M. 1/24



はあ……いやああああ……
気持ちよくて……
オシッコが……オシッコが止まらないの……

ハッ

ゴッ

ゴッ

ニョボボボ



はあ…… はあ…… はあ……
こんなにドロドロに汚されちゃったわ……
もう……お嫁にいけない……かも……

んんん

んんん

んんん

んんん

!!

!!

ガラス越しのシンデレラ



お屋敷の2階の一室に中庭を一望できる程
大きな窓ガラスの部屋があるの…
誰もいないとき、私は裸になって
そのガラスに身体を押し付ける…

ギュッと胸を押し付けると
ひんやりしたガラスが冷たくて気持ちいい…



そのままグリグリと身体を動かすと
乳首の先に氷の魔法をかけられたような
そんな感覚…

もしかしたら、
外から誰かに見られてるかもしれない…
こんなはしたない姿の私を、
みんなはどう思うかしら…



そんな想像をするだけで
何だか身体が熱くなっちゃう。
自分でも変だと思っけど…
もうアソコが濡れてきちゃった…

はあ… はあ…
もしかしたら私…
こんな風にしてるのを…はしたない姿を
誰かに見られたい…



心のどこかで、そう思ってるのかもしれない…
自分の知らない自分はきつと…
淫らで、はしたない…
すごくエッチな女なんだわ…



きちやう…
止められない、熱いのがきちやう…

ああ… ダメ…
考えただけで感じちやう…
身体の中が熱い… 熱いわ…

おっ

おっ

ヒッ

ヒッ

ズッ

ズッ

ふあああああつ…
またおっぱいから熱いのが出てきちゃった…
私、やっぱり変よ……………
何もしてないのにこんな…



まだ、熱いのがおさまらない…
自分のドキドキが…熱いのが脈打ってる…
あつ………… ひあうっ!
まただわ………… また、出そう…………
やっ! あっ! んあっ!



ま...また...
イツつちや...た...

はあ... はあ... はあ... はあ...

アリュッ

はあ...

はあ...

はあ...

こんなところ
本当に見られたら…
私、お屋敷に居られなくなっちゃう…



でも、これが
本当のわたし……なの……



この間、書庫を整理しているときに
禁断のマジックアイテムというものを見つけたの。
なんでも、魔力を高める効果があるらしく
さっそくそれを試してみようと思うわ。

初めてのマジックアイテム



ここに書いてあるスペルを唱えてみましょう。
…… ΦΨΩ …… ΘμΦτ ……
なんだか、マジックアイテムが光りだしたわ…
す…少し怖いけれど…
ベッドに乗ってみようかしら…



フワフワとまるで生きてるみたい…
なんだかヒワイな形…
見てるだけなのになんだか、濡れてきちゃった…
これが、マジックアイテムの効果なのかしら…



魔力を宿しアイテムよ、ナンジのその力をしめせ……



あっ！！ちょっと……
いきなりそんなところ……
そんなに擦られたら……あっ……
ダメ……感じちゃう……



ブブブブブブブブ.....

ひああああああっ!!!!

なに!!?? ダメえ.....

激しい...!! そんなにされたら... 私.....



あああああああっ!!! こんなの、こんなのムリよ。
あっ!あっ!!
もうイク、イツちゃう!!



はあはあはあはあはあ……
こんな気持ちいいの…… 初めて……よ……
あっと言う間にイカされちゃうなんて…

ダメ…
待って……



まだ…よ……
もっと、欲しいのよ……

ああん…これイイの……
あっ！はあああっ！！



どんどん入ってくる。
そうよ… もっと奥を感じさせて…
ふああ… こんな初めて…

ブウウウウウウン！！
ひやあううう！！



えっ！？
また、動いてる！！
いやあああっ！ 中で動いてるう！！！！

ああん！ダメ！！
勝手にどんどん入ってきちゃう！！
私の子宮が…はひい



ひあ！犯される、犯されてるう！！
ひいいい！！これらめっ……
すごい！すごいのお！！

やああん！
おかしくなっちゃう！！
もうダメっダメなのおおお！！



あっ！あっ！！あっ！！
壊れるっ！！壊れちゃうううう！！
ひああああああああああ！！！！

ひあああああああつ!!!



ダメえええええ!!!!!!

ふあああああっ！！



いやああ……
止まらないよお……

あは……あ……
もう……… ダメ………



はあはあはあ……
気持ちよすぎて…
全部… 出ちゃった………

極上のメインディッシュ

ましろ

もうすぐ、夕食の時間…
いつもこの食卓を囲んで、みんなで食事をするわ。
でもまだ少し時間があるから、
ちよつと大胆なことをしてみたくなっちゃった。





あら？

なんだか、ちようどお尻のところに当たるものがあるわ…
これはペツパーミル（コシヨウ入れ）ね…

やだ……こ、これ……
なんだか私のアソコにちょうどいい大きさかも……





あんっ… これ、もしかして
私の中に入りたがってるんじゃないかしら…



んああっ!
押し広げられて…
もう先っちょが入り…そう…

んんん

んんん



んっくう…
入る… 入ってるわ…
私の中に…
硬い…
ものが…

あああん…
ダメ… もう、全部入っちゃう…





あっ！ あんんっ！
は……入っちゃった……
これ……硬いのが当たって……
気持ち……いい……の……



ゆっくり動くと、硬いのが出たり入ったりするの…
すごい… 変になりそう……



あっ!
当たる... 奥に... 硬いのが.....
私を突き刺してくるの... 熱い...
熱いわ

んんうっ！ んっ！ くふう！
ダメ… 気持ちよくて腰が止まらない…
もうすぐみんなが来ちゃうのに…
こんなのダメよ………… あっ！ あっ！





ひっあああああああ……
ダメ…… 気持ちいい……
いけないのに…… こんな、はしたないこと……
私…… 淫らな女……

あー♡

はっ♡

あー♡

はっ♡
あー♡

はっ♡
あー♡

はっ♡

どうしよう…
食卓をピチヨピチヨにしちゃったわ…
でも… 気持ちよかったんだもの…
止まらなかったの……





私、もうエッチな自分が
抑えられなくなってきたみたい…
こんな淫らな魔法使いなんて
本当にいやらしいわ……


△▽♡

私だって女の子…

いつも寝る前には大好きな本を広げ
夢のような物語の世界に入ってヒロインになる
そんな妄想をしたりもするの…



指先のインモラル



こうして、妄想の中に入り込んでいると
だんだんと身体中が熱くなって
んんっ…なんか変な感じ…

ああっ… ヤダ…
また、エッチな気持ちになってきちゃった…



この頃の私…
本当にどうしちゃったのかしら…
もう、こんなに濡れてる……

やん… ちょっと触っただけで
すごくエッチな音をする。
はあ… はあ… でも… 気持ちイイ…



あはあ…
私の指先が私の気持ちいいところを
一番よく知っているから…

的確に敏感な部分を刺激して…
あっ！ あんんっ！
激しく… やさしく… そう、もっと…



あああああ…
気持ちいい…… ここ… 感じる……
んあああっ！ ひやうううっ！

熱い…の… もっと…
もっと… 激しくっ……
あっ！ あっ！ はんっ！ んあっ！！

んはあああああああああつ!!!!!!
あつ!! ひゃん!!



イツちゃううううううう!!!!!!
んあつ!

はあ… はあ… はあ…
ま…また… もらしちゃった……
お布団がビショビショ……

下着も脱がなきゃ…
このまましたら… また汚しちゃう……



下着取っちゃった…
今度は寢室の大きなベッドの上で…
もっと大胆に開放的になりたいの…



あん…… もう… ピチヨピチヨ…
私のココ… すぐ、おもらししちゃう…
誰にも言えないわ…
こんな、はしたない…おま○こだなんて…



でも… 感じちゃうんだもの…
んっ！！ ここ、身体がピクピクしちゃう
医学書で見たわ… たしか陰核…
クリトリス… 女の子の一番感じるところ



ふあああっ！！
やん！ 気持ちいい…
電気が走るみたいにビリビリきちやうの
あああっ！



あっ！ くる… また、きちやう……
ダメなの… 我慢できない……
んあっ… あふあああ……
イツちやう… 私また、イツちやう…



ひあああああああ!!!
ダツメええええ!!!



あああああああ……
イッてる… 私、イッてるのおおお……
やん…… 止まらないのおお……



はあ… はあ…
もうダメ…… 頭の中が… 真っ白……
何も考えられない……



もう、おま○こがトロトロで…
このまま溶けてしまいそう……
こんな淫らな私を…… いつか……
誰か… 愛してくれるのかしら……

誰もいない部屋の片隅で
今日もひとり悦楽におぼれる…



偽りのインテリジェント

誰も知らないわ…
私がいつもあられもない姿で
こんなことをしているなんて…



理知的でクレバー、冷静でおしとやか
誰もがそう思って疑わない。
知識と日陰の少女……



でも、それは違う…
私だって女の子…
きっと普通の人以上に……



愛されたくて…
今日もこうして快楽を満たすの…



いつか、本当の自分を
ありのまますべて
愛してくれる人が現れるそのときまで...

幻想失禁ISM ～おわり～